

株式会社 昌和発條製作所

線材に新たな「価値」を ニーズに応え存在感発揮

納期
相談
コスト
相談
量産
対応



現在の本社・工場社屋

業務内容 製造技術の集積示す 「異形線ねじりばね」

昭和39年創業のばね専門メーカー。丸線の標準規格品を提供する自社ブランド「サンエス」は、関係事業者に広く知られており種類は1,800点にもおよぶ。また、特定のニーズに応じて量産提供する「異形線ねじりばね」も得意とするほか、回転動力を離れた位置に伝達する「フレキシブルシャフト」の製造も行う。このうち異形線ねじりばねでは、高い製造技術により高荷重性やばね形状の小型化などの要望に応じている。手がけるこれらの製品群は自転車や自動車の部品、建築金物、水道管などの各分野で同社の存在感を発揮している。

強み 強力なばね力のCWSで 省スペースと軽量化実現

異形線の加工で築き上げてきた技術は、「CWS（コイルドウェーブスプリング）」の開発、製品化にもつながっている。CWSは平線材を連続して波形状をつけながら巻いたもので、圧縮コイルばねと比べて軸方向にコンパクトで、皿ばね・ウェーブワッシャーと比べて多くのたわみを取ることが可能となる。さまざまな分野で小型化している製品において、ばねの省スペース・軽量化に貢献している。自動車部品での実績を生かし、今後はさらに標準サイズを取り揃えて利便性を上げていく方針だ。一方で展示会などを利用してCWSの性能をアピールし、認知度を高める取り組みを進める。

来向 未来志向 やりがいのある 会社づくりを追求

ばねの世界で存在感を発揮する同社。佐川浩社長は「今後も変わらずお客様からの

信頼を築いていくには、顧客ニーズにいつそう重点を置かねばならない」とし、その思いを「未来志向」という言葉に込める。その根幹に据えるのが「従業員がやりがいを持ち、成長していける会社づくり」だ。課題への果敢なチャレンジを奨励し、一人ひとりの創意工夫に応える職場環境を目指す。それにより人事考課も各職場のリーダーによる評価会議で決定していく方法に変更。評価基準の客観性、具体性を高める仕組みに刷新していく。

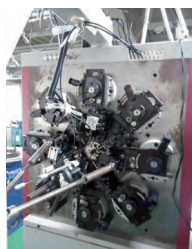
今後の展望 顧客の自動化を支援 存在価値を高める

自動組立ライン作りを顧客と共同で行い、ばねの整列納入や製造工程の全自動化による作業軽減や品質の全数保証など、お客様貢献に注力する。「信頼される製品づくり」に取り組むことで、自社の存在価値を高めていく方針だ。

また、本社と工場の全面移転も行っている。現在の本社・工場の周囲は宅地化が進んでおり道路使用に支障があることや建物の老朽化などにより、本社と同じ大阪府松原市内の三宅工場前にある用地に移転を決めた。新本社工場（敷地面積約1,980㎡）のうち、2019年内には先行して工場の完成を予定している。



さまざまな
ばねを製造



ばね成形機

当社の歴史



昭和39年2月に創業し、「常に誠実」をモットーに信頼される製品づくりに徹してきました。その誠実、堅実な取り組みが今につながっているのだと思います。これからもお客様の困りごとなどに柔軟に対応し、「ばね」のように縁の下の力持ちとして、世の中を支え続けます。

代表取締役社長 佐川 浩さん

大阪 30 ISO 9001

主な事業内容

丸線ばね、異形線ばね、フレキシブルシャフトなどの製造・販売

主な取引先(納入先)

自転車部品、建築・建物、水道管の各メーカーほか

- 住所 〒580-0031 松原市 天美北5-13-8
- TEL 072-331-3303
- FAX 072-336-1204
- 創業 昭和39年2月
- 設立 昭和43年12月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 35名

<http://showa-spring.com/>